

令和4年度 第6回古賀市子ども読書活動推進計画策定協議会会議録

会議名称：令和4年度第6回古賀市子ども読書活動推進計画策定協議会

日時：令和4年9月6日(火)13時30分～14時30分

場所：リーパズプラザこが交流館 302 洋室

主な議題：「第4次古賀市子ども読書活動推進計画」の最終確認について

- ①パブリックコメントの報告
- ②ワーキンググループの報告
- ③本文案の最終確認について
- ④その他

傍聴者：0名

出席者：鈴木 章会長 村山 美和子副会長 井手 由紀子委員 亀川 代志子委員
草野 三保子委員 園 久恵委員 森中 祐美子委員 山森 直哉委員
以上8名

事務局：4名

配布資料：①レジュメ

- ②第4次古賀市子ども読書活動推進計画 最終案②（事前送付）
- ③パブリックコメント報告

1 開会のことば

(事務局)

皆様、本日は御多用の中お集まりいただきありがとうございます。

本日、司会進行をさせていただきます図書館係水上と申します。どうぞ、よろしく願いいたします。

まず、資料の確認をいたします。レジュメ、パブリックコメントの報告ということで2枚、机の上に置いております。第4次古賀市子ども読書活動推進計画（最終案②）をこの会議に先立ち郵送させていただいておりましたが、お持ちでしょうか。

以上、3点です。不足等はございませんか。

本会議につきましては、会議の公開制度に基づき傍聴席を設けております。会議の内容につきましては、会議録を作成し、古賀市のホームページ上に公開していきますので、あらかじめご了承ください。

本日は302洋室を使用しての策定協議会となります。会議録作成のため、ボイスレコーダーを置かせていただいております。あわせてマイクを用意しておりますので、発言の際にはマイクを回して御使用いただき、最初にお名前を言っていただきますようお願いいたします。スムーズな会議録作成のため御協力をお願いします。

本日、9月議会中ではありますが、台風の影響により、本来午前中から開催であった文教厚生委員会が午後開催となりました。そのため、教育部長横田が欠席しております。また本日は吉田補佐が欠席しております。

それでは、第6回古賀市子ども読書活動推進計画策定協議会を進めてまいります。

開会の言葉を図書館長中野が申し上げます。

(館長)

皆さん、こんにちは。

台風11号がどうなるかと心配しておりましたが、無事開催できました。ご出席ありがとうございます。

これまで5回の協議会で皆様から御意見をいただき、最終案をまとめさせていただくことができました。今日はその最終確認ということで、お気づきの点もあるかと思っておりますので、

御意見をお聴かせください。

また、本日は参考資料なども新たに加えております。そちらにつきましても御意見を願いたいと思います。

今日の会議で最終確認いただきましたら、今月末の定例教育委員会に提出、承認ののち印刷製本し、目途としては11月に、皆さんのお手元にお届けできるのではないかと考えております。

それでは、第6回古賀市子ども読書活動推進計画策定協議会を開催します。よろしくお願いいたします。

2 会長あいさつ

(事務局) 続きまして「2 会長あいさつ」、鈴木会長、願いたいと思います。

(会長) 皆さん、こんにちは。

振り返ってみますと、第1回の策定協議会のスタートは今年の7月29日でした。ほぼ1年でこのような形にまとまったということは感慨深いものがあります。本日もよろしくお願いいたします。

3 協議等

「第3次古賀市子ども読書活動推進計画」の最終案について

(1) パブリックコメントの報告

(事務局) それでは、「3 協議等」に移らせていただきます。

ここからの協議につきましては、鈴木会長、村山副会長に願いたいと思います。よろしくお願いいたします。

(会長) それでは協議を始めます。

まずパブリックコメントの報告、ワーキンググループの報告等を説明していただきます。その後、本文案の最終確認ということで、締めというかたちになりますので、それぞれお一人ずつ感想、まとめのお話をいただきたいと思っていますところ です。

それではパブリックコメントと、ワーキンググループの報告を続けて事務局から願います。

(事務局) はじめに、第4次古賀市子ども読書活動推進計画(案)のパブリックコメントについてご報告させていただきます。

古賀市では、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、家庭、地域、保育所・幼稚園等、学校、図書館等行政が互いに連携しながら子どもの読書活動に関する施策を計画的に推進していくための指針となる「第4次古賀市子ども読書活動推進計画」の策定を進めてまいりました。

このたび、古賀市パブリックコメント手続実施要綱に基づき、「第4次古賀市子ども読書活動推進計画」(案)を公表し、市民の皆様からの御意見を募集いたしました。

意見提出期間は、令和4年7月20日(水)から8月19日(金)とし、郵便による場合は、当日消印有効としました。古賀市広報行事予定表8月号にて周知を行い、古賀市役所正面玄関ロビー、サンコスモ古賀、リーパスプラザこが中央公民館、リーパスプラザこが図書館、古賀市隣保館「ひだまり館」この5か所で行いました。

また、古賀市ホームページや古賀市立図書館ホームページにも掲載し、インターネットからでも閲覧できるようにいたしました。

提出されました御意見についてご報告いたします。件数は1件でした。レジュメとともにお配りしておりますパブリックコメント報告のプリントをご覧下さい。

御意見を読み上げます。「図書館で借りた本を返却できるポストをししぶ駅にもつくって欲しいです。また、新宮町や福津市の図書館の本も古賀市で予約して利用できるシステムがあれば便利だと思います。図書館を利用する人や本を読む人が増えると思います。」

この御意見につきまして、事務局で検討いたしました。その結果、計画への反映につきましては、「提案いただいた内容につきましては、図書館サービス全体の向上に関する御意見だと認識しており、御提案に感謝いたします。図書返却ポストにつきましては、今後図書返却ポスト増設を検討する際の参考にさせていただきます。他市町の本の予約の件につきましては、他市町の本の予約をすることは図書館システム上難しい状況です。予約・リクエスト用紙に御記入いただき、他市町の本を取り寄せて貸出しを受けることができる「相互貸借サービス」を御利用いただければと思います。」というような回答をパブリックコメントの結果として公表することとしたいと思います。

パブリックコメントについての報告は以上です。

(2) ワーキンググループの報告

(事務局) 続きまして、ワーキンググループにつきましてご報告いたします。

パブリックコメントにて本文案の大幅な修正が必要な意見が出た場合、ワーキンググループ会議を開催する予定としておりました。ただいまパブリックコメントの報告をいたしました。このように子どもの読書活動推進計画の本文案に関する御意見ではなく、図書館サービス全体の向上に関する御意見であると認識いたしまして、会議は開催せず、パブリックコメント回答案および最終案②の本文案のデータを関係各課ワーキンググループ委員に送付し、課内にて最終的な修正がないか等の確認をしていただきました。

ワーキンググループの福祉課、子育て支援課、学校教育課、生涯学習推進課、青少年育成課、文化課の職員に丁寧に見ていただきましたが、本文を大幅に変更するような修正意見は出されませんでした。以上です。

(会長) パブリックコメントは別紙の内容で、1点だけ出されたということです。返却ポストの増設についてと「相互貸借システム」ではない他市町所蔵の本の予約についてということですね。これについて委員の皆さんから何かあればお願いします。

よろしいですかね。

次にワーキンググループについてですが、こちらもこのとおりでよろしいですかね。では、先に進めます。

(3) 本文案の最終確認について

(会長) 本文案の最終確認について、事務局からお願いします。

(事務局) 本文の最終案②について、修正点を報告いたします。

最終案②をご覧ください。

まず、本文案の細かい語句の微調整が今後も出てくるかもしれませんが、それにつきましては事務局におまかせいただきたく、ご了承いただければと思っております。よろしく願いいたします。

大きく報告したい点についてお知らせします。

表紙ですが、裏表ともカラー印刷となりますが、今回お示ししています表紙画像はイメージであり、最終的には違うものになる予定です。

本文は24ページとなっており、館長方針の「30ページ以内」という当初の計画どおりにおさまったのではないかと思います。

1ページめくっていただき、「はじめに」をご覧ください。掲載位置を表紙裏とし、教育長の顔写真とともに掲載する予定です。

2ページの「目次」をご覧ください。当初「1、はじめに」としていましたが、目次外になりましたので、目次の章立てが以前2だったのが「1、子ども読書活動の意義」となり、すべて1つずつ繰り上がっています。

10ページ「6、これまでの成果と課題」をご覧ください。「家庭読書の絵」と書いております位置に、家庭で家族ぐるみで読書しているイラストを作成依頼し、描いてもらっておりますので、こちらを掲載したいと思っております。(イラストを見せる)

10 ページから 13 ページまでの写真につきましては、現在掲載しております写真のほか、学校や保育所での活動の様子のわかる写真をただいま依頼しておりますことから、調整し多入れ替えることもありますことご承知おきください。

26 ページをご覧ください。ここからが別添資料となっております。今回、A4 サイズで綴じ込んでおりますが、26 ページの「別添資料① 第4次古賀市子ども読書活動推進計画体系図」と、27 ページの「別添資料② 第4次古賀市子ども読書活動推進計画日「取組内容・展開イメージ」は、裏表カラーで、A3 サイズで折り込む予定です。

その後のページからはA4に戻ります。28 ページ「別添資料③ 子ども読書活動等に関するアンケート調査結果（概況）」、39 ページ「別添資料④ 読書ボランティア団体一覧」、41 ページ「子ども読書活動に関連する主な出来事」となります。

以降が今回新しくご提示する部分としまして、43 ページ「古賀市子ども読書活動推進計画策定協議会要綱」、44 ページ「古賀市子ども読書活動推進計画策定協議会委員名簿」を掲載しております。ここで、申し訳ございませんが、名簿のお二人目の削除をお願いします。

また、参考としまして「第4次古賀市子ども読書活動推進計画策定にかかるワーキンググループ」の表を掲載予定です。最終ページに奥付、こちらには文化課図書館系の連絡先を記入する予定です。最後に裏表紙となっております。以上です。

(会長) それでは、まずは13ページまでに区切って、御意見がありましたらお願いいたします。
まず、私からいくつか気づいたことを。あらためてテーマがいいなと思いました。「はじめに」は、インパクトのある書き出しと論調が、これまで練ってきた計画本文とはまた違い、新鮮味があつていいなと思いました。第5次古賀市総合計画からの引用の「ひと育つ、こが育つ」の「こが育つ」がいいですね。古賀の「こ」、子どもの「こ」、個性の「こ」。それを「チルドレンファースト」でまとめていく、素晴らしい巻頭文だと思います。
次に7ページです。アンケート調査結果のところ、いつの調査が記載がないんです。それは別添資料の方でも同じです。
それから12ページの写真のコメント「小学1年生対象の図書司書によるおはなし会」ですが、これは学校司書と市立図書館司書、どちらのことでしょうか。
私からは以上です。

(事務局) そうですね。期間等は重要な情報ですので、挿入場所を検討し掲載したいと思います。
また、写真についてですが、これは市立図書館の司書が、読書ノート配付に合わせておはなし会を行った時のものです。現在、学校に読書活動に関連する写真を依頼していますので、そちらと差替える可能性があります。この写真をそのまま使用する場合は、「市立図書館の司書」とわかるようにしたいと思います。

(会長) 他にお気づきの点はありませんか。

(草野委員) はい。写真について今のお答えを聞いて、公共図書館の司書さんが学校に出向いておはなし会をしている姿というのが貴重なのかなと思いました。学校司書さんはいるけれども、公共図書館司書も読書ノートを広めるため学校に行く、そういうことも載せた方がいいのかなと思いました。

(会長) そういうことをしているというのは大事なところなんですよね。
他にありませんか。

(副会長) 村山です。
わかりやすいように、細かいところで言葉を足されているなと思いました。
写真は差替えるかもとのことですが、気になった点を伝えます。11 ページの「地域文庫のイベント」ですが、顔が隠れていて誰が読んでいるのかわかりませんので、顔が見えるものが良いと思います。先ほど司書さんのお話もありましたが、誰がしているかというのは大

切だと思えます。

また、13 ページの「大学との連携によるプログラミング体験教室」は、立っている男性が目立つので、もう少し違う写真の方がいいのかなと思えました。合わせて13 ページ本文の「小学校の新学習指導要領の改訂に合わせた体験教室」ですが、新学習指導要領の改訂のどの部分が体験教室に係っているのか知りたいなと思えました。以上です。

(会長) では、事務局お願いします。

(事務局) はい。

写真については自分達で小さなカメラを使用して撮影していることや、イベント自体が少し暗い中で行われていることなどもあり撮影に苦慮しているのですが、おっしゃるとおりだなと思えます。11 ページは「しらさぎ文庫」さんなのですが、確かに読み手さんがほぼ見えない状態です。もう少しわかりやすいイメージにするなど、工夫をしたいと思えます。

13 ページのプログラミング教室写真についてですが、おっしゃるとおりだと思いますので、もう一度選定したいと思えます。

また、「新学習指導要領の改訂に合わせた体験教室」というのは「プログラミング教室」のことで、小学校教育にプログラミングが取り入れられるのに合わせ、福岡工業大学との連携により図書館で事業を行いました。わかりにくいようですので言葉を足して修正をいたします。

(会長) 村山委員、よろしいですか。

(副会長) はい。

(会長) その他にありますか。

(草野委員) 草野です。

11 ページと13 ページの地域文庫の活動写真が、両方とも同じ地域文庫さんです。できれば違う地域文庫の写真がいいのではないのでしょうか。

(事務局) そうですね。

(会長) 他にありませんか。

よろしいでしょうか。

では、14 ページから24 ページまででお気づきになった点はありますか。

(副会長) 村山です。

20 ページ「(3) 学校との連携をさらに推進 ③市立図書館との連携」の「ドリームステージ」に「中学生職業体験学習」の言葉を足されたんですね。わかりやすくなりました。

(会長) 私もそこは気になっていました。

他にありますか。

では、私から。24 ページ「(5) 利用しやすい図書館づくり ③子どもが気軽に利用できる図書館へ」の「赤ちゃんタイム」、仮称となっていますが、例えば時間帯等、現段階ではどの程度まで決まっているのでしょうか。

(事務局) 乳幼児を連れた保護者には、子どもが大きな声を出すことなどを心配し、来館することをためらう傾向が見られます。例えば、赤ちゃんおはなし会前後の午前中に騒いでも大丈夫な時間を設定することなどで利用しやすくなるのではないかと内部で検討中です。まだ、月に何回とか時間帯はどうするかということまでは決定しておりません。

- (会長) わかりました。
では、他に御意見は。
- (山森委員) はい。山森です。
14 ページ「基本目標2 (2) 保育所・幼稚園等と読書ボランティアをつなぐ」とあるんですけど、施策の中でここだけ動詞で終わっていて少し気になります。「つながりの強化」「つながりの促進」などに変更してはいかがでしょうか。ご検討ください。
- (館長) 御指摘のとおりだと思います。検討いたします。
- (会長) 他にはありませんか。
よろしいでしょうか。よくまとまっていますしね。
《別添資料》は、こちらも冊子に付けるということですね。これまで見てきた資料となりますが、まずは38ページまで見ていきましょうか。ここまですべて何かあれば。アンケートが少し字が小さいかなとは思いますが、カラーになれば大丈夫ですかね。
- (館長) 色刷りのページについてですが、今の時点では振り分けがどのようになるかは、まだ決まっておられません。アンケートのところもカラーになるか2色刷りになるか未定でして、事務局に一任していただければと思います。
もう1点。事務局からの提案なのですが、44ページの名簿の下に、今日の会議の風景を掲載させていただきませんか。
- (会長) わかりました。
- (館長) ありがとうございます。では、よろしく申し上げます。
- (会長) 色刷りの話ですが、アンケート部分は何色刷りになるかわからないということですね。そして、A3折込み部分はカラー刷りですね。その辺は事務局にお任せします。
では続いて、39ページ以降最後まで。関係団体の名称などもありますので、確認をお願いします。
図書館活動の歴史も素晴らしいですね。表彰事項も多くあり、こんなに受賞していたのかと感心しています。
では、何かありましたら。
よろしいですかね。
- (山森委員) すみません、44ページの委員名簿の訂正をお願いします。「所属等」の欄、私「指導主事」となっていますが、正しくは「社会教育主事」です。
- (事務局) 失礼いたしました。訂正いたします。
- (会長) その他にもありませんか。
- (副会長) はい。
これで「子ども読書プラン」も出来上がりました。5年前も計画を作った後に評価をされましたが、あの評価についてはああいう形で使われることを知りませんでした。他のところと一緒に並べられると、他はできているのにうちはできていないように感じました。計画には評価がつきものです。毎年評価するとか、評価の目標を明確にするとか、また、作った人と実際に評価する人は違っていたりする場合がありますから、これから先の5年間は長いですから、これから先も図書館の方で見守って推進していただきたいという願いを持っており

ます。以上です。

(井手委員) 44 ページの委員名簿です。「久保保育園長」となっていますが「久保保育園園長」でお願いします。

(会長) 「園」をもう一つ入れるということですね。
先ほど村山副会長からお話があったのは、24 ページの「進捗管理」のところにも出ています。毎年度実態把握に努めること、PDCAサイクルの手法によってこれからも進めていきます、ということが書いてあります。そこのところをしっかりとお願いします、という指摘だったと思います。

それでは、この協議はこれで終了の運びとなりますが、一年間の協議を終えて、皆様方からお一人ずつまとめの感想、今後の事、希望なども含めて、一言ずつお願いできたらと思っております。

できましたら山森委員さんは最後にまとめをお願いいたします。

(森中委員) 一年間はあっという間でした。こういう委員に選んでいただき、参加させていただいて、本当にありがとうございました。

高校生は本当に忙しくて、元々本が好きな子でも時間がなくて読書の時間が減っているのかなと思うのですが、幼少期にしっかり本を読んでいる子は、こういう活動をしていれば、大人になった時に本に戻ってくるのではないかと思います。皆さん、ありがとうございました。

(亀川委員) この「子ども読書プラン」を作るのに携われたことは、とても勉強になりましたし良かったと思います。ありがとうございました。

(草野委員) 私は常にフルネームで名乗ることを心掛けています。子どもにアピールするのはフルネームでと思っていますし、個人の個がここにいるということを伝えたいと思っています。ですから、地域文庫に来る子どもにも「文庫のおばちゃん」ではなく、「草野三保子です」と言うようにしています。

谷川俊太郎さんの絵本に「わたし」という本があります。先日も小学2年生に読み聞かせたのですが、あの本は素晴らしいんです。自尊感情や自己実現にもつながる内容です。小さな絵本に壮大なロマンを込めて作られている作家さんがいて、自信を持って子どもに勧められると思っています。そんな気持ちを持って、私はこの協議会に参加させていただいていました。

私達の会も高齢化が進んでいますが、今後、子ども読書活動がどのように進んでいくのかという楽しみを持っています。一年間ありがとうございました。

(会長) 会長の鈴木章です。

今日、ほぼ出来上がり、ほっとしているところです。テーマ「いつも本をそばに～本がはぐくむ 子どもの未来～」、「未来」という言葉に期待しています。我々でこのプランを完成させたことを誇りにしていいんじゃないかと感じていますし、この内容が実際に広がっていくことを願っています。ありがとうございました。

(副会長) 私が教職についておりました時は、教育計画を作るのが仕事の一つでした。大変な業務だったのですが、その時の経験を活かすことができよかったなと思っています。大変勉強になった一年間でした。

(井手委員) 一年間携わらせていただいて、保育園以外のいろいろな方から園児以外の年齢の子ども達のことをお聞きしながら、自分が関わっている時期はやはり子どもにとって大切なんだなと感じています。

私共の園は先日引っ越しをしまして、新しい園舎には念願の、誰でも絵本が手に取れる絵本がずらっと並んだコーナーがあります。これまでは廊下などにあちこちに置いてあった絵本を、何日もかけて整理をしました。整理中に保護者のお迎えの時間になった時、絵本についての「この本知ってる」「おもしろそう」などの保護者の声が聞こえるんです。子ども達も「知ってる」「読んでもらった」「読んだ」とか言うんですね。そんな声が聞けて、整理しているときも温かい気持ちになり、うれしくなりました。

本当は今日から貸出開始予定だったのですが、台風のため一日延びて、明日からになりました。また、保護者からいろいろな声が聴けるのではないかと楽しみにしています。

一年間ありがとうございました。

(園委員) 細かい意見を言う立場として参加させていただいて、様々な立場の方の子ども読書活動推進の考え方や、今後の方向性を聞き、この計画を見ることができたことで、今後の学校での教育活動や図書館教育について方向性を一緒に考えられたことが、自分にとって大きかったなと思っています。

重点の取組が挙がっているので、それを把握し、取り組んでいけたらと思っています。自分の方向性の確認にもなり、大変勉強になりました。ありがとうございました。

(山森委員) 一年間「子ども読書プラン」の策定に携わらせていただき、ありがとうございます。古賀市さんが毎回強い思いを持って提案され、少しずつ完成していくプランを見せていただき、また、皆さんの御意見を聞かせていただき、私自身、大変勉強させていただきました。県は今不読率の解消をテーマにしており、本をまったく読んでいない、本が好きではない子どもに、どうやったら本を手にとってもらえるのか、いつも福岡教育事務所の同僚と悩んでいます。この「子ども読書プラン」の中には、その考えていることがいっぱい詰まっているのかなと感じています。とても温かい、一人ひとりの子どもに寄り添ったプランになっているなと感じました。

福岡県も現在第4次計画策定の最終段階です。出来上がりましたら、また皆さんにお届けします。今後も古賀市さんと協力し、子どもの読書活動を推進したいと考えています。

ありがとうございました。

(会長) ありがとうございました。

なお、私達の任期は来年6月30日までですが、この会はここで終わりとなります。その後の進捗状況確認、評価等については、古賀市図書館協議会で報告や御意見をいただくという形になります。その点を御承知おきください。

(4)その他

(会 長) 事務局より今後の方向性、進め方についてお願いします。

(事務局) 「第4次古賀市子ども読書活動推進計画」の冊子につきましては、200部印刷する予定です。

第4次計画の冊子につきましては、小・中学校、幼稚園、保育園関係、読書ボランティア団体、庁舎内の各部署、県・市町図書館、議員の皆様等々へPDFデータ配布と紙の冊子を使い分けながら配布していきたいと思っております。地域へも、啓発していく機会をとらえてお話しをしてお渡ししていけたらと思っております。

また、子どもの読書活動や家庭読書のすすめについて、わかりやすいリーフレットを作成していけたらと考えているところです。

第4次計画の広報につきましては、まず市報「広報こが」にて特集記事を組みましてお知らせする予定です。また、教育委員会フェイスブック、図書館ホームページ、新しく開設しました図書館ツイッターなども活用しながら、あらゆる機会をとらえて周知していきたいと思っております。

それとともに、この第4次計画が推進され、子どもの読書環境がさらに充実していきます

よう、進捗状況の管理を古賀市図書館協議会に引き継ぎまして、そちらで管理をしていきたいと考えているところです。

協議会の皆様の御意見や熱い思いをいただきまして、図書館でも皆で力を合わせて子どもの読書活動推進に努めていかなければいけないと実感しているところでございます。本当にありがとうございました。

それでは最後に、毎回お願いしております会議録の件です。

今回の校正は、鈴木会長と井手委員にお願いしたいと思っております。

事務局で作成した後、お渡ししたいと思いますので、校正をいただきますようお願いいたします。お忙しい中だと思っておりますが、御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(会長) では、進行を事務局にお返しします。

4 閉会の言葉

(館長) 最後の御挨拶は、文化課長の柴田からいたします。

(課長) 鈴木会長におかれましては、毎回円滑な進行を心掛けていただき、ありがとうございました。また、山森委員には初回のレクチャーにも尽力いただき、ありがとうございました。委員さん一人ひとりにお声掛けしたいところですが、時間の都合もあり割愛させていただきます。皆様、本当にありがとうございました。

事務局として至らない点も多々あったかと存じますが、ご容赦ください。今後とも子ども読書に限らず、図書館全般について、これからもご支援いただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、これを持ちまして「第6回古賀市子ども読書活動推進計画策定協議会」を閉会いたします。ありがとうございました。